

療育カルテ

を書こう

めに



療育カルテ

「療育カルテ」とは？

「療育カルテ」は、一人の子どもの成長・発達へのより良い支援のために活用され、療育・教育・医療等からの支援を一貫・連続して行えることを目的としており、その目的を達成するための一つの方法として存在します。

5枚の基本シート（生育・医療・教育・療育・社会生活）からなり、その時々での支援、教育に携わる専門家と家族が記載していきます。

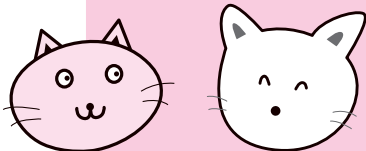
「療育カルテ」の利点

子どもと家族にとって

- 家族からの発信で子どもに関する情報が一元化し、共有され、子どもの共通理解が図られます。
- 情報の共有によって、子どもへの丁寧な支援や教育が可能となり、子どもと家族の願いや思いを大切にしたい引き継ぎがされていきます。
- 家族と関係者が一同に介した引き継ぎがしやすくなります。
- 地域の関係機関との連携がスムーズになり、地域社会への理解が促進されます。
- 緊急時に子どもの情報がすぐに把握でき、素早い適切な医療・療育・保育・教育等の支援が受けやすくなります。
- 行く先々の窓口で同じことを何度も説明しなくて済みます。
- 子どもと巡り会う関係者や関係機関が、子どもと家族を中心に連携することで、子どもの一生涯の一貫・継続した支援・教育が可能となります。
- 子どもの自分史となり、親亡き後も引き継がれます。

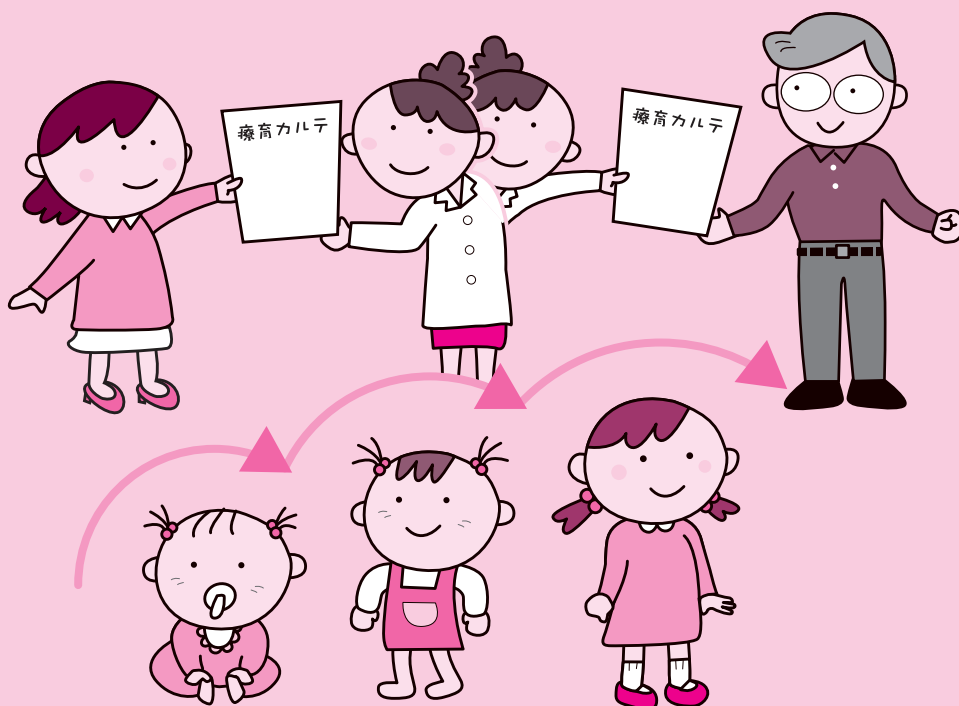
子どもと関わる機関にとって

- 家族との信頼・協力関係が築きやすくなります。
- 子どものこれまでのトータルな情報が把握できます。
- これまで、どの機関でどのような支援・教育を受けてきたかが把握しやすくなります。
- 療育・保育・教育の取り組みや支援の積み上げを、次の担当者や機関に引き継ぎやすくなります。
- 子どもへの支援や教育が一つの線で繋がっていきます。



「療育カルテ」が大切にしていること

- 療育カルテは、本人とその家族のものであり、家族が所持し、家族の判断によって必要なときに活用されます。
- 療育カルテの内容を「誰に」、「どの機関に」、「どの程度」、「どのような形で」提供するかは家族の判断で行われます。
- 家族から情報を提供された関係者は、知り得た情報を家族が了解した以外に活用することはできません。
- 療育カルテの記載者は、家族が中心となりますが、子どもと直接関わる関係者も含まれます。ただし、療育カルテに記載される内容は、最終的に家族の了解を得た内容とします。



次ページより記載のポイントと記載例を掲載していますのでぜひお役立てください。

療育カルテ
〈生育シート〉

- 「障がい名・病名」には、主たるものを記載します。
また、診断に関わる経過を初診日や担当医師、相談内容について記載し、受診の経過を記録しておく、20歳で障害年金の申請書を記入する際に役立ちます。
- 「手帳等」には、判定を受けて、発行された内容を記載します。再判定を受けて、内容に変更があった場合は、加筆してください。
- 公的な助成制度や手当の受給があれば、口にチェックします。
- 「生育歴」には、母子手帳の情報を記載できます。検査については、実施した機関名や検査の種類、時期が解っていれば記載します。
- 「療育・保育歴」には、就学前に利用した母子通園や幼稚園施設、児童施設、保育園、幼稚園の名称と期間、利用頻度(週〇回)、担当者等を記載します。
- 「教育歴」には、学校名や在籍学級、担任名、寄宿舍・通学バスの利用などの情報を記載します。
- 「就労歴」には、会社名や施設名、担当部署と担当者名を記載します。
- 「備考」欄には、ショートステイなどの公的な福祉サービスや母子療養、ボランティアの利用状況について記載します。

※市では、一人ひとりの子どもの社会的な自立を目指し、学校や保護者、関係機関との共通理解を図り、連携しながら効果的な支援が行えるよう、療育カルテを参考にして「はこだて子どもサポートシート」を作成しています。

療育カルテ【生育シート】

記載例

ふりがな 氏 名	はこだて たろう 函 館 太 郎		性 別		生年月日	H17年 7月 7日		
住 所 TEL	函館市東雲町 4番13号		TEL 0138-21-3302 携帯TEL 090-xxxxx-xxxxx					
緊 急 時	函 館 花 子(祖母)		TEL 0138-21-3013 携帯TEL					
家 族 状 況	氏 名	生年月日	続柄	職業	氏 名	生年月日	続柄	職業
	函館 ちち	S47. 7. 7	父	会社員				
	はは	S48. 8. 8	母	主婦				
障がい名・病名			診 断 時 期		診 断 機 関 (担当者)			
ダウン症			H17年 7月 0歳頃		A病院小児科(B 医師)			
心疾患(心臓弁膜症)			H17年 7月 0歳頃		A病院小児科(B 医師)			



手帳等	身体障害者手帳 1種 1級 (障害名:心臓弁膜症)) 交付 H17年12月12日
	療育手帳 ■A ・ □B 交付 H20年12月12日
	■障害児福祉手当 ■特別児童扶養手当 □児童扶養手当 □その他()
生育歴	妊娠経過 : 良好 分娩経過 : 普通分娩
	在胎 38 週 ・ 出生時体重 2400 g ・ 身長 47 cm ・ 頭囲 32 cm
	発達経過 : 定頸 4 か月 ・ 四つ這い 6 か月 独歩 1歳 5 か月 ・ 始語 1歳 8 か月
	健診歴 乳幼児健診 4か月 (H17年10月10日) (A病院) 10か月 (H17年 5月10日) (函館市総合保健センター) 1歳6か月 (H18年 1月11日) (函館市総合保健センター) 3歳 (H20年 7月11日) (函館市総合保健センター) (年 月 日) ()
検査	
療育・保育歴	H18年 2月 児童発達支援 週2回 (Bさん) H20年 4月 ○○保育園 (C先生)
教育歴	
就労歴	
備考	(福祉サービスの利用など) H20年3月 ショートステイ △△学園 母入院時



療育カルテ〈医療シート〉

- 保険証の番号等の重要な情報を記載するので、取り扱いは十分配慮してください。
- 「予防接種」については、年齢によって受けた予防接種が違い、各自治体の計画によりますので、母子手帳に記載してある予防接種をそれぞれ記載します。時期については、初回の年月を記載します。
- 「既往歴」には、治癒した病気やケガについて、時期もあわせて記載します。
- 「備考」欄には、食べ物や薬などのアレルギーの他、皮膚炎や結膜炎、ぜんそくの状況といった、医療面で生活上配慮する事項について記載します。
- 「治療状況」には、通院や入院、検査の状況、服薬の経緯、期間ごとの経過を記載します。

療育カルテ【医療シート】

記載例

保険等	健康保険証 (記号番号)	子ども医療 受給者証	重度医療 受給者証	その他	
予防接種	定期	五種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) ①回・②回・3回・追加	水痘 1回・2回	ヒトパピローマウイルス (2価・4価・9価) 1回・2回・3回	小児用肺炎球菌 ①回・②回・③回・追加
	任意	BCG ①回	日本脳炎 第1期 1回・2回・追加 第2期	ロタウイルス (1価・5価) 1回・2回・3回	B型肝炎 1回・2回・3回
		麻しん風しん混合 第1期・第2期	二種混合 (ジフテリア・破傷風) 第2期		
	任意	おたふくかぜ ①回・2回	インフルエンザ		
既往歴	病名	肺炎	水痘		
	罹患時期	H17年12月～ 2週間	H20年 5月		
備考	医療面で生活上配慮する事項、アレルギー(食べ物、薬など)				
治療状況	疾病名	医療機関・主治医	受診状況(通入院・検査)	服薬	経過
	心臓弁膜症	A病院 〈小児科 B医師〉	年4回通院	なし	様子観察
備考	〈診断書があれば添付 : 診断名・投薬名・注意事項他〉				血液型
					B
					平均体温 36.5



療育カルテ〈療育・保育シート〉

(基本的には療育・保育機関からの情報を家族が記載、または各機関の記録をそのまま添付)

- 「保護者の願い」には、教育への移行の方向性や保護者が願う将来像を記載します。
- 「園での様子」には、自由遊びや設定遊び、制作の様子や身の回りのことのほか、社会性やコミュニケーションの現状、活動する上で配慮する運動機能や感覚等の特性について記載します。
- 「目標の経過」には、重点目標の評価や達成状況、次期への方向性について記載します。

療育カルテ【療育・保育シート】

記載日(年 月 日)

機関名	〇〇保育園		クラス	うみ組
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達と遊べるようになって欲しい ・トイレで排泄ができるようになって欲しい ・簡単な動作や指さしで意思を伝達できるようになって欲しい 			
園での様子・現状や支援の方法	学 習	3色分けができる。クレヨンでグルグル書きができる。		
	身の回り	靴、靴下が脱げる。紙パンツ、ズボンを見せると片足ずつあげて、自分から足を通す。好きなものは、手づかみで食べられる。飲み物はストローで飲める。トイレは日中夜間ともに紙パンツ。		
	遊 び	手遊びや、お遊戯が好きで、音楽がかかると身体を揺らす。音の出るものが好きで、スイッチを自分で押して鳴らして遊べる。細かいおもちゃは口に持っていくことが多い。外では砂や水を触って遊ぶことが多い。		
	コミュニケーション	要求はハッキリしないが、嫌いな食べ物を出されたり、行いたくない活動に誘われると、不快を示す声を出し、手で押しのけたり。座り込んで拒否をする。有意味語はないが、発声はあり、表情も豊か。		
	社会性	誰にでも人見知りなく近づいていく。模倣は正確にはできないが、お遊戯では他児が踊ると手を叩いたり、身体を揺らしたりする。クラス(25名)程度の集団では表情良く過ごせるが、それ以上の集団になると萎縮して動けなくなったり、参加を拒否することがある。		
その他	あまり、騒がしい場面は苦手。体力がなく、疲れやすいので、外での活動は体調を見ながら行う必要がある。便秘しないように、水分補給と野菜を摂るように心掛ける。			
目標の経過	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の生活の流れの中で、着替えの場所、食事の座席を固定し、場面でやることを理解できるようになる。 ○ご飯も小さなおにぎりにして、なるべく一人で食べられるように工夫し、食事の介助を減らし、自分で食べれる物を増やす。 ○拒否の表現があった時は、可能な限り児の気持ちを優先して、発信の意欲を高める。 			

記載者 〇 〇 〇 〇



療育カルテ
教育シート

(基本的には教育機関からの情報を家族が記載、または各機関の記録をそのまま添付)

- 「保護者の願い」には、支援の方向性や進路、本人・保護者が願う将来像を記載します。
- 「学校での様子」には、授業での学習の様子、課題への取り組み方、休み時間の過ごし方や身の回りのことのほか、社会性やコミュニケーションの現状、活動する上で配慮する運動機能や感覚等の特性について記載します。
- 「目標の経過」には、重点目標の評価や達成状況、次期への方向性について記載します。

療育カルテ【教育シート】

記載日(年 月 日)

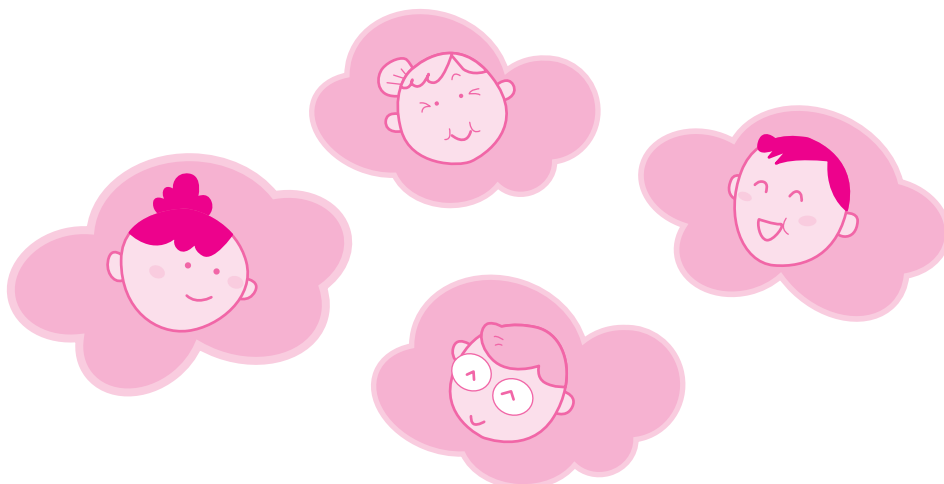
在籍学校	〇〇小学校		学年・学級	6年
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・中学に進学したら就労に向けて、活動と結果の関係性の理解を学び深めていきたい。労働的な活動と報酬の関係が理解できるように、作業学習だけでなく、家庭を含め1日を通して取り組めるように相談して進めていきたいと願っている。 ・適切な表現方法でのコミュニケーションを身につけて欲しい。 ・スケジュール等の生活設計が自分で出来るようになって欲しい。 			
学校での様子・現状や支援の方法	学習	動作を伴う学習が有効で、操作すると具体的思考のイメージ化が図れる。視覚的支援のある学習が有効で、見通しをもった学習に欠かせない。機械的な記憶が強く、学習活動と行動・場面設定・関わり方を学ぶ。長所として一定のパターンのある学習が有効で、動機付けや手続きの変更の伝達法がポイントになる。		
	身の回り	食事は負荷の高いものであり、無理せずコンディションに合わせた量や食事時間の調整があると摂取できる。季節特有の変化に加え、生活リズムも徐々に崩れると修正が難しく配慮が必要。		
	余暇	絵本・ビデオ・DVD への関心が高い。ファンタジーを思い出しながら絵を描いたり、大人とやりとりしたり、独り言を言ったりする。簡単なごっこ遊びを楽しんだりもする。		
	コミュニケーション	学校では言語要求で済む場面も多いが、要求内容が不十分な時はお話ブックを活用するようにしている。文字の読み書きが可能で、簡単に文脈に応じた一語、二語文程度なら内容を理解できる。予定表では、文字と線画の視覚情報を併用している。どんな些細なことでも、書いて伝え共有することが効果的。		
	社会性	学習や活動でのルールやマナー等は、事前の交渉や確認が効果的で、状況によって自己評価の観点を盛り込むことも有効。コンディション不良の時は、ストレス耐性が極端に低下するため、当たり前でできていた約束が守れない状況もあり活動への配慮が必要。		
その他 (活動や特性への配慮等)	睡眠・食事・天候などに起因するコンディショニングの難しさが、ストレス耐性の極端な低下に強く影響する。そのため、聴覚刺激への過敏さが増したり、冷静にやりとりできなかつたりする状態を招くこともある。休息の取り方、24時間サイクルでの生活リズムの見直し、動機付け等の工夫により、今季はシーズンを通して安定して登校することができるようになってきた。			
目標の経過	適切な情報の取捨選択に困難な面があり、スケジュール提示法の配慮が必要である。今年は動機付けや活動の結果の関係性も学習され、主体的な参加も促せてきた。ただ、コンディションの不調など本人の困り感があった場合、上手に表現できず不適切な行動でしか表せないことも多く、誤学習に気がつけてきた。学年末からは騒々しさや突発的な声への過敏さが顕著で、音をかき消すために自ら音を発し、悪循環にもなり学習環境上の配慮が必要な時もある。セルフマネジメントに関しては、見えにくいものを顕在化すると主体的な判断を促せる。所要時間を意識して活動を調整するなど、捉えにくい判断基準を視覚化することで気づく力を引き出す。			

記載者 ○ ○ ○ ○

(基本的には福祉・就業機関からの情報を家族が記載)

- 職場での様子の「作業・仕事」については、どのような仕事の内容で、誰とどのくらいの量の作業をしていて、受けている支援の方法についても記録します。立ち仕事なのか、流れ作業なのか、道具や工具を使うのか、補助具やチェックリストはあるのか、服装は制服か、持ち帰って洗うのか、更衣室やロッカーの利用はどうか等について記載します。
- 「休憩・余暇」については、一日の中に何回何分ずつあって、それぞれどこでどのように過ごしているのか。また、休日や連休の余暇の過ごし方や、利用している公共機関や仕事への影響についても記載します。
- 「コミュニケーション」については、本人にどのように伝えるか、話し言葉なのか、文字なのか、絵なのか、写真なのか、具体物を渡すのかを記載し、本人の表出の方法についても同時に記載します。
- 「対人関係」については、あいさつや話題の内容といった職場の上司や仲間との関係や、社会的な人との距離、場にあったマナーなどの現状を記載します。
- 「自己管理」については、給料やお小遣いの使い方や貸し借り、持ち物の管理、出勤日などのスケジュールの管理、食事や睡眠などの健康管理の様子と必要となる支援の方法を記載します。
- 「その他」には、移動や運動、感覚などの特性へ配慮していることや、作業量や新しい作業内容の教え方、場所や順序の変更の伝え方、賞賛や注意の仕方などについて支援の方法を記載します。
- 「特記事項」には、サークル活動や移動支援、ホームヘルプなどの福祉サービスの利用の他、ジョブコーチや就労・生活支援センターといった支援機関の利用の現状と支援の方法について記載します。

次ページへ



療育カルテ【社会生活シート】

記載日(年 月 日)

在籍	株式会社〇〇		年齢	25歳
職場での様子・現状や支援の方法	作業・仕事	8時半から18時まで機械の調整時間以外は同じ仕事をしている。同じ種類の材料をまとめて置いたワゴンから一つずつ取り、機械に並べる仕事をしている。材料を数えて確認し、伝票に鉛筆で記入し、責任者に報告し、チェックリストで仕事の進み具合を確認している。鍵のついたロッカーのある更衣室で制服に着替え、週末に持ち帰って洗濯をしている。		
	休憩・余暇	午前と午後に15分の休憩があり、自販機で飲み物を買って飲み、トイレに行くことになっている。昼休みは1時間で決まった席で弁当を食べられるようにしてもらい、残った時間は横になるか雑誌を読んで過ごす。休日は好きな電車の写真を撮りに自転車で出かけ17時頃には家に帰る。		
	コミュニケーション	興味のある話しはするが、正確に表現できないので、仕事の報告は伝票に書くようにしている。「材料がありません」等のようによく使う言葉は、見える所に表示して、見て言うようにしている。通常の指示は、2語文程度の話し言葉に身振り動作を合わせて伝えている。		
	対人関係	挨拶や返事は元気がよくほめられている。休憩時間に自分の興味のある話しばかりして、職場の中で嫌がられることがあり、同じ話題を1分以上続けない練習を職場の責任者と協力して行っている。		
	自己管理 (持ち物・金銭・スケジュール等)	以前、職場の人にお金を貸したことがあり、職場に持っていく金額を決め、小遣い帳に残金を記入することにした。休みの確認のため、勤務表を前月にもらいカレンダーに書いている。就寝と起床時間はほぼ一定。		
	その他 (特性への配慮等)	残業は前日までに退勤時間を伝え、バス時刻を確認。賞賛がなかなか伝わらないので、退勤時にチェックリストに判を押して賞賛し、注意事項は次の日のチェックリストに記入し、改善を図るようにしている。大きな声が苦手なので、注意は低い声で穏やかにしている。		
特記事項	(福祉サービスの利用など) 月に2回移動支援を使ってサークル活動に参加している。 2ヶ月に1度ボランティアとカラオケに出かけている。			

記載者 ○ ○ ○ ○



療育カルテ のページ

生育シート	31
医療シート	33
療育・保育シート	35
教育シート	37
社会生活シート	39

※ 療育カルテは必要に応じて切り取ったり、枚数が不足する場合は、複写してご使用下さい。



療育カルテ【生育シート】

ふりがな				性別			生年月日	年 月 日		
氏名										
住所 TEL	函館市 町 丁目 番号					TEL				
	市 町 丁目 番号					携帯TEL				
緊急時						TEL				
						携帯TEL				
家族状況	氏名	生年月日	続柄	職業	氏名	生年月日	続柄	職業		
障がい名・病名			診断時期			診断機関（担当者）				
			年 月 歳頃							
			年 月 歳頃							
			年 月 歳頃							
			年 月 歳頃							
			年 月 歳頃							
手帳等	身体障害者手帳									
	種 級（障害名：			）			交付		年 月 日	
	種 級（障害名：			）			交付		年 月 日	
	療育手帳						交付		年 月 日	
□A ・ □B						交付		年 月 日		
□A ・ □B						交付		年 月 日		
□障害児福祉手当			□特別児童扶養手当			□児童扶養手当				
□その他（			）							

生	妊娠経過 : 分娩経過 : 在胎 週 ・ 出生時体重 g ・ 身長 cm ・ 頭囲 cm 発達経過 : 定頸 か月 ・ 四つ這い か月 独歩 歳 か月 ・ 始語 歳 か月	
	育 歴	乳幼児健診 4か月 〈 年 月 日〉 () 10か月 〈 年 月 日〉 () 1歳6か月 〈 年 月 日〉 () 3歳 〈 年 月 日〉 () 〈 年 月 日〉 ()
療 育 ・ 保 育 歴		
教 育 歴		
就 労 歴		
備 考	(福祉サービスの利用など)	



療育カルテ【医療シート】

保険等	健康保険証 (記号番号)		子ども医療 受給者証		重度医療 受給者証		その他		
	予防接種	定期	五種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) 1回・2回・3回・追加	水痘 1回・2回	ヒトパピローマウイルス (2価・4価・9価) 1回・2回・3回	小児用肺炎球菌 1回・2回・3回・追加			
BCG 1回			日本脳炎 第1期 1回・2回・追加 第2期	ロタウイルス (1価・5価) 1回・2回・3回	B型肝炎 1回・2回・3回				
麻しん風しん混合 第1期・第2期			二種混合 (ジフテリア・破傷風) 第2期	/		/			
任意		おたふくかぜ 1回・2回	インフルエンザ	/		/			
既往歴	病名								
	罹患時期								
	病名								
	罹患時期								
	病名								
	罹患時期								
備考	医療面で生活上配慮する事項, アレルギー(食べ物, 薬など)								

▶ 切り離して利用できます

治療状況	疾病名	医療機関・主治医	受診状況〈通入院・検査〉	服薬	経過
備考	〈診断書があれば添付 : 診断名・投薬名・注意事項他〉				血液型
					平均体温



療育カルテ【療育・保育シート】

記載日(年 月 日)

機関名		クラス
保護者の願い		
園での様子・現状や支援の方法	学 習	
	身の回り	
	遊 び	
	コミュニケーション	
	社会性	
	その他 (活動や特性への配慮等)	
目標の経過		

記載者 _____

在籍学校			学年・学級	年
保護者の願い				
学校での様子・現状や支援の方法	学 習			
	身の回り			
	余 暇			
	コミュニ ケーション			
	社会性			
その 他 (活動や特性 への配慮等)				
目標の経過				

記載者 _____



療育カルテ【教育シート】

記載日(年 月 日)

在籍学校	学年・学級	年
保護者の願い		
学校での様子・現状や支援の方法	学 習	
	身の回り	
	余 暇	
	コミュニ ケーション	
	社会性	
	その他 (活動や特性 への配慮等)	
目標の経過		

記載者 _____

療育カルテ【教育シート】

記載日(年 月 日)

在籍学校		学年・学級	年
保護者の願い			
学校での様子・現状や支援の方法	学 習		
	身の回り		
	余 暇		
	コミュニ ケーション		
	社会性		
	その他 (活動や特性 への配慮等)		
目標の経過			

記載者 _____



療育カルテ【社会生活シート】

記載日(年 月 日)

在籍		年齢	歳
職場での様子・現状や支援の方法	作業・仕事		
	休憩・余暇		
	コミュニケーション		
	対人関係		
	自己管理 (持ち物・金銭・スケジュール等)		
	その他 (特性への配慮等)		
特記事項	(福祉サービスの利用など)		

記載者 _____

療育カルテ【社会生活シート】

記載日(年 月 日)

在籍			年齢	歳
職場での様子・現状や支援の方法	作業・仕事			
	休憩・余暇			
	コミュニケーション			
	対人関係			
	自己管理 (持ち物・金銭・スケジュール等)			
	その他 (特性への配慮等)			
特記事項	(福祉サービスの利用など)			

記載者 _____